

2026年度

武蔵野高等学校

一般入試

学力試験問題

国語

注意

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 試験時間は50分です。
3. 解答はすべて解答用紙の定められた欄に記入しなさい。
また、字数制限のある問いに関しては句読点も字数に含みます。
4. 受験番号、氏名を解答用紙の定められた欄に記入しなさい。

受験番号	氏名

問五 次の文を文節に分けたものとして最も適切なものを、あとのア～オの中から選び、記号で答えなさい。

○私は今日提出する宿題を家に忘れてしまった。

ア 私は／今日／提出する／宿題を／家に／忘れてしまった。

イ 私は／今日／提出／する／宿題を／家に／忘れてしまった。

ウ 私は／今日／提出する／宿題を／家に／忘れて／しまった。

エ 私は／今日／提出する／宿題を／家に／忘れて／しまっ／た。

オ 私は／今日／提出／する／宿題を／家に／忘れて／しまった。

一一 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

① 青森県十和田市に、奥入瀬溪流という日本国内でも有数の景勝地があります。十和田湖とともに天然記念物にも指定されており、美しい自然に恵まれた人気観光地です。

しかしこの溪流、明治時代に発見されるまでは、地元の人々は別になんとも思っていないませんでした。誰もその景色を美しいとは思わない。重いものをもつてのぼるのがたいへんなので、むしろ嫌がられていたのです。その美しさを発見したのは、文学家としても知られる大町桂月おまちけいげつでした。一九〇八年の八月末から九月初めにかけて東京から訪れた彼が、その風景に感銘を受けて「奥入瀬の溪流の幽静、天下無比なること、二也なり」と書いてから、多くの人々が足を運ぶようになりました。

このように、ある物事の価値がその当事者に理解されていないケースは珍しくありません。とくに日本人は、良くいえば謙虚、悪くいえば自虐的なところがあつて、身近なものをみなダメだと考えがちです。いろいろな文化や生活習慣についても、欧米より劣っていると思い込んでいる人が多いのです。日本人自身が欠点だと思い込んでいる物事の中に、実は高い価値をもっているものがあります。ここは、その代表格とも呼べる日本の特質について考えてみましょう。

日本語の「曖昧さ」です。

曖昧なことに価値があるなどというと、驚かれるかもしれませんが。それはむしろ欠点だと感じていた人が大多数でしょう。実際、「日本人は物事はつきりといわないから欧米人に理解されない」という声をよく聞きます。

たしかに、日本語の曖昧さが欧米人を困惑させることは間違いありません。たとえば一六世紀にキリスト教を布教するためにやって来たカトリックの宣教師も、言葉の問題でさんざん苦勞し、ローマ法王に「日本語は悪魔の言葉である」と報告しました。理解しにくい言葉とか厄介な言語ならまだしも、神と対立する存在である悪魔を持ち出すのですから、ただごとではありません。

いまから三〇年ほど前に、アメリカの雑誌『タイム』が日本文化論を特集したときも、日本語について論じるセクションに「The Devil's Tongue (悪魔の言語)」というタイトルを掲げました。そこで指摘されたのが、日本語の曖昧さです。たとえば、日本語には一人称や二人称がやたらとたくさんある。それだけでもわかりにくいのに、その一人称や二人称をあまり使わない。主語もなければ、誰に向かっていっているのかも明確ではない。実に曖昧だ——というわけです。

そんな批判を聞くと、「たしかにそうだ」と納得してしまう人が多いでしょう。その特集の出た当時も、日本では誰もこれに反論しようとしませんでした

でした。しかし、欧米とは異なる伝統を持つ他国の言語を悪魔呼ばわりするのは問題です。欧米の言語は論理を重視するかもしれませんが、それが文化的に正しいとはかぎりません。長い歴史をもつ日本語が曖昧になったのは、それなりの理由があつてのことでしょう。

実際、^⑤ 曖昧さには明快な論理にはない価値があります。それを日本で初めてはつきり認めたのは、心敬^{しんけい}という一五世紀の天台宗の僧、連歌師でした。『よめごと』と題した詩論の本の中で、「透明なものは美しくない。清水に魚住まらずというように、濁りや匂いのようなものが美しいのだ」といった論を展開したのです。【ア】

二〇世紀に入つてしばらくすると、ヨーロッパにも曖昧さを肯定する論考が登場しました。イギリスの文学批判家ウィリアム・エンプソンの『曖昧の七つの型 (Seven Types of Ambiguity)』です。その七つの型自体はやや不明確な分類で、その気になれば二〇でも一〇〇でも並べられるようなものですが、それまで^⑥ ヨーロッパでは忌み嫌われていた曖昧さをあえて弁護したという点では実に画期的でした。

そこでエンプソンが取り上げた題材は、シェイクスピアのある有名なソネットです。きわめて洗練された詩ですが、非常に意味がわかりにくく、昔からさまざまな解釈がなされてきました。諸説紛々で、どれが正しいのかわからない。多くの研究者が、正解を求めて頭を悩ませ、議論をくり広げていたのです。

しかしエンプソンは、何人もの研究者が提案した説をほぼすべて肯定しました。その中のひとつだけが正しいのではなく、シェイクスピアの書いたソネットには、そのすべての意味が含まれている。実に曖昧だが、意味が曖昧だからこそ、面白いという考えです。

この論文は、日本の学者をかなり勇気づけました。欧米人で曖昧肯定論を語ること自体が大発見です。エンプソンの影響をつよく受けた人もすくなくありません。 、日本人は物真似^{ものまね}が上手なので似たような論文はたくさん出たものの、逆にヨーロッパを刺激するほど新しい考え方はついに現れませんでした。エンプソンの考えは、イギリス人を大いに驚かせましたが、フランスやドイツなど大陸の国では受け入れられていません。大陸のほうは、相変わらず反曖昧の伝統を守っているようです。【イ】

^⑦ それではなぜ、ヨーロッパの中でもイギリスにだけ曖昧肯定論が登場したのでしょうか。もちろん、単なる偶然かもしれません。

仮に何か必然性があるとすると、日本とイギリスとのあいだにある共通点があることに気づきます。それは、どちらも先進的な大陸の近くに位置する島国だということ。地続きの隣国を持つ大陸と、海に囲まれた島国とでは、言語感覚や美意識に違いがあっても不思議ではありません。実際、G.M.トレヴェリアンの『英国社会史 (English Social History)』という本の冒頭には、ヨーロッパ大陸の「コンチネンタル・フォーム」に対してイギリスを対比させ、その文化は大きく性格を異にする、といったことをいっています。【ウ】

曖昧な表現が島国で生まれやすいのかどうかは、もっと多くの島国の文化を比較して検証する必要があるでしょう。しかし仮にそうだとした場合、その理由を考えることはできません。隣国と人の行き来がある大陸と、周囲を海で閉ざされた島国とでは、コミュニケーションの質が違ってくるだろうからです。

曖昧な表現は多くの言葉を費やして細かく述べたりしないので、お互いが「ツ」^ツといえ「カ」^カと応じられるような洗練された関係がなければ成りません。いちいち噛^かんで含めるような言葉にしないと理解できない野暮な人間のいる社会では、厳密な論理性が求められます。よそ者につき合わなければいけない大陸諸国がそうなのは、自然な成り行きでしょう。【エ】

それに引きかえ、以心伝心でわかり合える社会では、あまり事細かな表現は嫌われます。わかりきったことを口にするのは相手の理解力を信じていないように思われて失礼になるのです。たとえば、何かいうときに「私は」という一人称を主語に置くのは、「いちいちいなくてもわかるよ」と思われるから略してしまうわけです。また、なるべく直接的な表現を避けて、婉曲^{えんきよく}な物いいになります。【オ】

外からの人の出入りの少ない島国は、そういう関係性が生じやすい社会です。密閉された社会では人々の同質性が高まり、コミュニケーションが洗練されます。多くを語らずに意思の疎通ができるのですから、いちいちこと細かく説明する社会よりも高度な言語能力を身につけているといえるのでしょう。

（『考えるとはどういうことか』外山滋比古）

問一 傍線部①「青森県十和田市に、奥入瀬溪流という日本国内でも有数の景勝地があります」とあるが、筆者が奥入瀬溪流について取り上げた意図を説明したものとして最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア ある物事に対する評価というものは、文化が異なれば変わるのが当たりまえであるということを読者に気づかせるため。

イ どのような物事に価値を感じるかは人それぞれであるが、その価値は当事者には理解しにくいという話題を遠回しに提示するため。

ウ 身近なものに対する価値というものは不安定なもので一概に決まらないことを示し、世間一般の見解に疑問を呈するため。

エ 人は自分にとって身近なものほど、その価値に気づきにくいということをわかりやすく示し、話題につなげるため。

オ そこに住んでいる人にとっては自然の価値は理解しがたいものであるということについて触れ、読者を話題に引き込むため。

問二 傍線部②「謙虚」の対義語として最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 自信 イ 高慢 ウ 尊厳 エ 不覚 オ 過剰

問三 傍線部③「日本人は物事をはっきりといわないから欧米人に理解されない」とあるが、その原因の一つとなっているのはどのようなことか。次の文の□に入る語句を、()内の字数指定に従って文中より抜き出して、それぞれ答えなさい。

日本語は、一人称や二人称の数が英語などよりも多く、それらを□

A									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(七字) ことが多いため、□

B		
---	--	--

(二字) がない、□

C									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(六字) 話しているのかも不明確なものになりがちなこと。

問四 傍線部④「日本では誰もこれに反論しようとしませんでした」とあるが、この反応について筆者はどのように考えていることがわかるか。次の文の□に入る語句を、()内の字数指定に従って文中より抜き出して、それぞれ答えなさい。

日本人は□

A									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(三字) な傾向があり、日本は□

B									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(九字) と考える人が多く、欧米の批判を受け入れていたが、□

C									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(七字) という特徴を持つ欧米の言語が文化的に正しいとは一概にはいえず、日本語の特徴を安易に否定すべきではないと考えている。

問五 傍線部⑤「曖昧さには明快な論理にはない価値があります」とあるが、どういうことか。最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 曖昧さは言語表現においては欠点になるが、深みを生み出し、明快さがもつ欠点を排除できる有効な手段になる可能性があるということ。
イ 表現において余白や自由に想像する余地というのは曖昧さの中にこそあり、その曖昧さから真の美しさというものが生み出されるということ。
ウ 曖昧さが表現における欠点であることは事実であるが、芸術や自然界では濁りこそが生命力や豊かさを生み出すと認識されているということ。
エ 論理性を追求すると物事が単純化され内容が薄くなるが、曖昧さを追求すると物事の奥深さや真髓を理解できるようになるということ。
オ 婉曲的で限定しない物いいには、すべてを事細かに説明するのでは表現しきれない、曖昧さゆえの自由で豊かな美しさがあるということ。

問六 傍線部⑥「ヨーロッパでは忌み嫌われていた曖昧さをあえて弁護した」とあるが、どういうことか。最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア エンプソンが、シェイクスピアの詩が洗練されていることの原因は曖昧さにあることを複数の解釈から明らかにし、弁護したということ。
イ エンプソンがシェイクスピアの詩についての複数の解釈を認め、曖昧さが彼の詩の深みと魅力の源となっていることを支持したということ。
ウ エンプソンがヨーロッパで初めてシェイクスピアの詩について複数の学者の解釈の多様性を取り上げ、詩に対する彼の関心の高さが注目されたということ。
エ エンプソンがシェイクスピアの詩の意味の曖昧さを否定しながらも、のちに曖昧さを認めることで議論を終結させたということ。
オ エンプソンがシェイクスピアの詩の曖昧さをヨーロッパの論理性を重視する文化的伝統と融合させ、彼の詩を曖昧肯定論の中で認めたということ。

問七 に入る語句として最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア つまり イ それで ウ ただし エ たとえば オ しかも

問八 傍線部⑦「それではなぜ、ヨーロッパの中でもイギリスにだけ曖昧肯定論が登場したのでしょうか」とあるが、これに対する筆者の考えとして最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 島国という閉鎖的社会では、人間関係で問題が生じないように相手の気持ちを察して会話をすることが求められるため、曖昧さに寛容だったから。
- イ 自己主張を重視しない傾向が島国の人々にはあるので、自分の意見を曖昧にして相手に結論を委ねる高度なコミュニケーションが発達したから。
- ウ 島国は密閉された社会になっているので、厳密なやりとりは求められず、曖昧な言い方で円滑なコミュニケーションをとる必要があったから。
- エ 閉鎖的な島国では、人々は価値観や前提を共有し、少ない言葉や表現でも通じる、曖昧で洗練された高度な言語能力を習得したから。
- オ 外部の影響を徹底して排除する島国では、ヨーロッパ大陸の論理に基づく言語文化ではなく以心伝心で理解し合う独自の言語文化が発達したから。

問九 次の一文は文中のある部分から抜き出したものである。戻す場所として最も適切なものを、文中の【ア】～【オ】の中から選び、記号で答えなさい。

日本も、やはり同じ文化的特質をもっていると考えると差し支^{つか}えないでしょう。

問十 この文章を説明したものとして最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 他国から否定的に見られてきた言語的特徴に文化的な価値を見出^{みいだ}した人物の見解を紹介し、島国の言語の特徴を分析している。
- イ 外部からの評価によって、自国の文化的価値を見直す視点が生まれたことを、具体的事例を複数挙げて説明している。
- ウ 他国との言語に対する見方の違いを手がかりに、日本人が国際社会の中で孤立しやすくなった原因を明らかにしている。
- エ 歴史的な経緯を踏まえ、日本語の言語的特徴とその特徴が世界における日本という国の評価に与えた影響を説明している。
- オ 欧米的な価値基準に沿った言語論が力を持つことにより、日本語の独自性が失われる可能性に対して警鐘を鳴らしている。

二 次の古文を読み、あとの問いに答えなさい。

昔、^{※1}魏の文王、我れは賢王なりと思ひて、臣下の中に、「^{※2}朕、賢王なるや」と問ひ給ふに、^①仁佐と云ふ大臣、「君は賢王にてはおはせず」と申す。

「いかなれば」と宣へば、「天の与ふる位を受くるこそ賢とは申せ、^{※3}威を以て位に居給ふ、これ賢王の^{※4}儀に非ず」と云へり。伯父の王位をうち落して、かの后をとりて我が后とし給へる事を申しけるにこそ。さて瞋りて座席を追ひ立てらる。次に郭課と云ふ大臣に、「朕は賢王なりや」と^②問ひ給へば、

「賢王とこそ申さめ」と申す。^③「何の故」と宣へば、「賢王には必ず^④賢臣生る」と申しければ、この詞を感じて、仁佐召し返し、政正しくし、賢王の

名を得たりと云へり。君も臣も賢なる世こそ^{※5}あらまほしく侍れ。

^{※6}上代の事を承るに、うらやましくこそ。専ら精己れを犯さず、能く性を悔ひて罪なき、これ人の本なり。すべて病なき人の如し。過あれどもあら

ため、罪を犯せどもよく懺悔して、後にまた犯さず、賢人なり。

(『沙石集』)

※1 魏Ⅱ古代中国の国。

※2 朕Ⅱ皇帝の一人称。

※3 威Ⅱ威力。

※4 儀Ⅱ意味。

※5 あらまほしく侍れⅡ望ましいことです。

※6 上代Ⅱ大昔。

問一 傍線部①「君は賢王にてはおはせず」とあるが、仁佐がこのように言ったのはなぜか。次の文の

--

 に入る語句を、() 内の字数指定に従って古文中より抜き出して、それぞれ答えなさい。

A

(二字)により位を与えられたのではなく、

B			
---	--	--	--

(五字)を力で奪い取ったにすぎないから。

問二 傍線部②「問ひ給へば」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問三 傍線部③「『何の故』と宣へば」とあるが、この現代語訳として最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 「何のためか」とおっしゃると

イ 「どういう意図があるのか」とおっしゃるので

ウ 「どのような理由によるのか」とおっしゃると

エ 「どのような原因か」とおっしゃったが

オ 「何の目的があるのか」とおっしゃったところ

問四 傍線部④「賢臣」とあるが、誰のことか。古文中から漢字二字で抜き出して答えなさい。

問五 この話を通して作者が伝えたかったことが書かれている一文を古文中からさがし、初めの三字を抜き出して答えなさい。

問六 この話の内容として最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 文王は自分が賢王であると自負していたが、家臣から信頼を得ていないことがわかり、自分の言動を反省した。
- イ 文王は家臣の言葉に耳を傾け自身の過ち^{あやまち}を認めて改心し、高潔で、民を慈^{いへ}しみ、正しい政治を行う賢王になった。
- ウ 仁佐は誰に対しても公平な人物で、たとえ相手が王であっても臆せず、身分の下の者に対しても敬意を示した。
- エ 郭課は文王の行う政治には問題がなく、家臣も優秀であるために文王はこれから賢王になるだろうと断言した。
- オ 仁佐も郭課も優秀で忠実な家臣であったが、文王をうまく操り、王に取り入る能力は郭課のほうが優れていた。

二〇二六年度 武蔵野高等学校

一般入試・学力試験
解答用紙
国語

受験番号	氏名
------	----

問一	①	
	(む)	②
	(ける)	③
		④
		⑤

問二	①	
	(えて)	②
	(む)	③
		④
		⑤

問三	
①	
②	
③	

問四
①
②

問五	
----	--



問 一	
--------	--

問 二	
--------	--

問三
A
B
C

問四	A
	B
	C

問五	
----	--

問六	
----	--

問七	
----	--

問八	
----	--

問九	
----	--

問十	
----	--

問一	A
	B

問一	
----	--

問三	
----	--

問四

問五	

問六	
----	--

受験番号	氏名
------	----

一

問一	①	育	(む)	②	設	(ける)	③	創造	④	劇薬	⑤	規模
問二	①	たずさ	(えて)	②	はげ	(む)	③	ていたく	④	ほんろう	⑤	へいがい
問三	①	福	②	陣	③	利						
問四	①	ウ	②	ア								
問五		ウ										

2点

2点×2

2点×3

2点×5

2点×5

二

問一	工	4点
問二	イ	3点

問三	A	あまり使わない	B	主語	C	誰に向かって	6点
----	---	---------	---	----	---	--------	----

問四	A	自虐的	B	欧米より劣っている	C	論理を重視する	6点
----	---	-----	---	-----------	---	---------	----

問五	オ	4点
----	---	----

問六	イ	4点
----	---	----

問七	ウ	3点
----	---	----

問八	エ	4点
----	---	----

問九	【ウ】	4点
----	-----	----

問十	ア	4点
----	---	----

三

問一	A	天	B	伯父の王位	6点
----	---	---	---	-------	----

問二	といたまえば	3点
----	--------	----

問三	ウ	4点
----	---	----

問四	仁佐	4点
----	----	----

問五	過	あ	れ	4点
----	---	---	---	----

問六	イ	5点
----	---	----